

第51回理事会・第25回社員総会 議決

令和5年度

事業報告書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「橘樹官衙遺跡群立柱式雅楽演奏」
- b. 事業の趣旨：本事業は、同市の橘樹官衙遺跡群を広く周知すると共に、多くの市民が活用できる目的で、飛鳥時代後半の倉庫一棟を復元する等の史跡整備工事の立柱式に同市より招かれ、祝賀を目的とした雅楽演奏であった。
- c. 日 時：令和5年9月23日（土）12時～
- d. 場 所：川崎市国指定史跡公園（川崎市高津区千年）
- e. 参加者：川崎市・施行関係者招待者及び一般 約100名
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：雅楽演奏（舞楽「陵王」 20分）
- h. 出向人員：楽人、舞人、スタッフ 計15名
- i. 主 催：川崎市教育委員会学習部・文化財課史跡・埋蔵文化財課
- j. 反 響：
 - ・ 当日は、小雨模様の天候のなか、川崎市長福田紀彦氏、市議会議長、同市教育委員長、史跡保存会、施行関係者の招待者及び近隣市民約100名の方々が参加され、立柱のイベントが行われ、舞楽を楽しまれた。
 - ・ 「来年5月のオープニングでの上演も、是非見に来たいという方々が大変多かった」との反響を主催者からいただいた。
 - ・ 2024年5月18日の竣工の際には、記念オープニング式典に招聘され、竣工に相応しい演目として舞楽「賀殿」を演奏させていただく予定である。

【事業名 2 : 地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「天神社おたち祭 雅楽奉納」
- b. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元で雅楽の振興を深める機会を増やすことを願い、いすみ市長者天神社おたち祭に雅楽を披露した。
- c. 日 時：令和 5 年 10 月 31 日（火）17 時半、18 時半の 2 回。
- d. 場 所：いすみ市長者天神社境内
- e. 参加者：一般参詣者 約 150 名
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：雅楽演奏 管絃「壺越調音取」「武徳楽」
舞楽「陵王」／演奏時間 30 分 演奏 2 回
- h. 出向人員：楽人、舞人、スタッフ 計 13 名
- i. 主 催：いすみ市長者町地域商工会
- j. 反 響：
 - ・ 毎年のおたち祭での雅楽演奏をいつも楽しみにされる住民の方々が多く、和やかな雰囲気の中、雅楽を通して地域との交流を深めることが出来た。

② 雅楽に関する講演会

【事業名 1 : 第 15 回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについて講演を行い、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を願いとした。第 15 回は、前年のスイス公演の企画実施に当たりご尽力いただいたチューリッヒ大学のハンス・トムセン教授に講演をいただき、日本スイス両国の交流を深めることを趣旨とした。
- b. 日 時：令和 5 年 11 月 11 日（土）14 時半開演、17 時終了
- c. 場 所：紀尾井小ホール（東京都千代田区）
- d. 参加者：招待者、一般（約 200 名）
- e. 入場料：前売り 2,500 円、当日 3,000 円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
第一部 講演
テーマ「視覚化された雅楽～絵画と版画を通して見た無形文化遺産」
講師：ハンス・トムセン博士
チューリッヒ大学東アジア美術史教授
第二部 雅楽演奏

演奏：北之台雅楽アンサンブル

特別出演：

笛 安齋省吾・元宮内庁楽部首席楽長

笙 大窪貞夫・宮内庁楽部楽師・

重要無形文化財保持者

箏 久恒壮太郎・宮内庁楽部現役楽師・

重要無形文化財保持者

歌 日向由子・ひなたおさむ 声楽家

演目：管絃「壺越調音取」「蘭陵王」「武徳楽」

舞楽「北庭楽」

歌謡「エーデルワイス」（雅楽伴奏）

g. 出向人員：特別出演者、楽人、舞人、スタッフ 計 38 名

h. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

i. 後 援：在日スイス大使館

j. 成 果：

- ・ 後援をいただいた在日スイス大使館を代表しジョナス・プルヴァ広報部長にご参列いただき、スイスとの交流を深めることが出来た。又在日フランス大使館からシャルランリ・ブロッソ文化参事官もご参列いただき、第 16 回雅楽と国際文化交流にはフランスで活躍される元産経新聞パリ支局長の山口昌子氏を講師としてお迎えすることもあり、同大使館の後援を検討いただけることとなった。
- ・ 第 15 回を重ねる本事業に対して、ご列席いただいた各界の方々より、第一部講師として国内外で活躍される様々な分野の著名な方々を招聘され、内容的にも非常に高いレベルの企画であること、又安齋先生始め宮内庁現役楽師の先生方の演奏により素晴らしい雅楽演奏を聴かせていただけることに賛辞の声をいただいた。

k. 主な感想：

- ・ 音楽的、振付的パフォーマンスとしてだけでなく、美的パフォーマンスとしての雅楽の起源を示す図像的作品に関するトムセン教授の講義に魅了されました。
- ・ トムセン博士の講演も雅楽の歴史や世界にも絵巻物などによって知られていることなどに目を見張るばかりでした。続いて雅楽の演奏、舞楽や歌など楽しく拝聴しました。特別出演の先生方の響きは見事でした。
- ・ トムセン博士の講演は、はじめて知ることばかりで、絵巻物などの映像とともに興味深いお話でした。この度も雅楽の音色に悠久の時を感じ、またよく知っている”エーデルワイス”も心に響い

て涙がこぼれました。

- ・ ボストン美術館、メトロポリタン等にも美術としての価値や雅楽の歴史を国外でとりあげられたこと知り日本人として誇りに感じました。異次元の空間に誘われた思いで、舞楽では日本人の男性の品格を感じました。
- ・ 目の覚めるような装束、優雅な舞にうっとりしました！雅楽の伴奏によるエーデルワイス最高！！
- ・ 雅楽を版画、絵画を通して見るという講演は大変興味深く拝聴しました。雅楽の音色、舞にも心洗われる思いがしました。
- ・ 初めての雅楽でした。とても感動しました。伝統的な曲や舞も良いですし、エーデルワイスの古いものと新しいもののコラボも良かったです。」

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名 1：2023 欧州雅楽紹介】

本事業は、2023 年オーストリア雅楽紹介については、2024 年 4 月開催の日本春祭りへの参加とすることとなった。又 2025 年に企画していたパリ新現代美術館・ピノーコレクション雅楽公演が中止となった為、準備会合は実施しなかった。

【事業名 2：2023 日本ペルー外交関係樹立 150 周年記念雅楽公演】

本事業については、在ペルー日本国大使館及び国際交流基金リマ支部と実施に向け検討を重ねたが、現地社会情勢の混乱及び楽器等の運搬に当たり安全性が確保できない状況から、実施を見送ることとなった。

② 海外における教育機関における雅楽演奏会、日本文化体験教室 対象事業はない。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

対象事業はない。

② 雅楽体験教室

【事業名 1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施した。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与することを趣旨とした。

b. 期日・会場・参加者数：千葉県内小中学校 8 校（千葉県教育委員会推薦）

① 令和 5 年 9 月 6 日 九十九里町立豊海小学 （183 名 全校生）

② 令和 5 年 9 月 13 日 習志野市立袖ヶ浦東小学校
（100 名、5～6 年生）

③ 令和 5 年 11 月 7 日 南房総市立嶺南小学校 （285 名、全校生）

④ 令和 5 年 12 月 5 日 八千代市立勝田台中学校 （440 名、全校生）

⑤ 令和 5 年 12 月 8 日 野田市立川間小学校 （124 名、全校生）

⑥ 令和 5 年 12 月 14 日 袖ヶ浦市立長浦小学校
（312 名、3～6 年生）

⑦ 令和 6 年 1 月 17 日 富里市立浩養小学校 （74 名、全校生）

⑧ 令和 6 年 1 月 26 日 柏市立高田小学校 （212 名、4～6 年生）

合計 1,730 名

c. 内容：管絃と舞楽鑑賞及び舞楽体験

① 雅楽鑑賞

管絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」

舞楽「北庭楽」

② 舞楽体験

舞楽の説明

舞人の手本を（2 回実施）

舞振りを体験

曲に合わせて舞人と共に舞う（2 回実施）

③ 質疑応答

d. 出向人員：楽人、舞人、スタッフ 計 23 名

e. 成果：

- ・ 体験事業 11 年目となる本年は、実施学校数、延べ 70 校を超える年となり、昨年に引き続き多くの生徒に雅楽を紹介・体験してもらうことが出来た。
- ・ 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行等、感染症への懸念はあったが、出向者の検温や人と人との距離の確保など、昨年に引き続き基本的な感染防止対策を講じた結果、円滑に事業を進めることができた。

- ・鑑賞した学校からは、授業時間中や後日送っていただいた感想カードを通して、多くの質問も頂戴し、生徒が真剣かつ積極的に雅楽を学んでくれていることを手応えとして感じられた。
- ・教職員自身が、伝統文化である雅楽を実際に鑑賞することが初めてという声も多く、映像ではなく演奏を生で聴き、体験することの重要性を感じていただけたようだった。また保護者の方々が見学された学校も何校もあり、子供たちが貴重な体験が出来たことに対する感謝の声や保護者自身が雅楽に親しむことが出来たという感想を戴いた。雅楽という日本の伝統文化を知り、継承されていくことの大切さを理解された。
- ・生徒の集中力持続に関する点では、舞楽鑑賞中に舞の手に関するクイズを出すことで、自然と授業に集中してもらい取り組みが出来た。
- ・また聴く人を落ち着かせ、リラックスさせるような演奏が、雅楽では良い演奏とされるという説明をすることで、雅楽という馴染みのない音楽の特徴を理解し、より多角的に雅楽を鑑賞してもらえた。

【事業名2：小中高校における雅楽体験教室】

本事業は事業計画書に予定していたが、対象事業はなかった。

③ 雅楽研修会

対象事業はない。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体としたPR活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 年会報（年一回）の作成発行（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以上